
開講科目名：消費者法研究（4単位）

開設年次：1年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：田口 義明

《授業の概要》

消費者法は、消費者の権利を守り、私たち一人ひとりが安心・安全な消費生活を送っていく上で不可欠な仕組みである。近年、活発に制定・改正され、目覚しく動いている、まさに旬(しゅん)の法分野である。

本授業においては、消費者法の考え方と体系を概観した上で、消費者が直面する取引被害や安全問題に対応するための主要な法律について講義する。

講義に当たっては、具体的な事例や問題を踏まえながら、実務的・実践的な内容に重点を置く。

（授業計画）

- 第1回 消費者法とは何か？
- 第2回 消費者法の体系（消費者基本法）
- 第3回 消費者法の運用体制？（国の消費者行政）
- 第4回 消費者法の運用体制？（地方の消費者行政）
- 第5回 民法と消費者法
- 第6回 消費者契約法？（不当勧誘規制）
- 第7回 消費者契約法？（不当条項規制）
- 第8回 特定商取引法？（総論、訪問販売、電話勧誘、クーリング・オフ）
- 第9回 特定商取引法？（通信販売、インターネット取引）
- 第10回 特定商取引法？（マルチ商法、ネズミ講）
- 第11回 特定商取引法？（継続的役務提供）
- 第12回 消費者信用と割賦販売法
- 第13回 消費者金融と多重債務問題？（金利規制）
- 第14回 消費者金融と多重債務問題？（貸金業法）
- 第15回 前期まとめ
- 第16回 金融取引と消費者？（金融商品取引法など）
- 第17回 金融取引と消費者？（利殖商法、投資詐欺など）
- 第18回 消費者の安全？（製造物責任法）
- 第19回 消費者の安全？（工業製品、医薬品）
- 第20回 消費者の安全？（食品）
- 第21回 欠陥住宅問題
- 第22回 独占禁止法と消費者
- 第23回 景品表示法
- 第24回 情報化社会と消費者
- 第25回 個人情報保護法
- 第26回 消費者被害の救済？（消費生活相談と消費者情報システム）
- 第27回 消費者被害の救済？（裁判外紛争解決手続（ADR））
- 第28回 消費者被害の救済？（裁判所における紛争解決）
- 第29回 消費者被害の救済？（消費者団体訴訟制度と集団的被害の救済）
- 第30回 後期まとめ

《テキスト》

出席、レポートの提出等により評価する。

《参考書》

中田邦博・鹿野菜穂子編「基本講義消費者法」（日本評論社）